



防災意識を高める 防災行政無線通信訓練 防災情報講演会

瀬戸内市役所で7月6日、防災行政無線の通信訓練が行われました。

訓練では、播磨灘を震源とするマグニチュード7.3の地震を想定。同報系無線による市民への災害情報・避難勧告の通報や、移動系無線による被災状況の情報収集訓練などが、迅速に行われました。

また同日、邑久町公民館で「防災情報講演会in瀬戸内市」が開催されました。

防災に関心のある市民、自主防災組織・自治体の関係者約400人が参加。中村功東洋大学社会学部教授による基調講演のほか、岡山県危機管理課職員によるプレゼンテーションなどが行われ、参加者の皆さんは、災害時における防災情報の伝達について理解を深めていました。



電力会社からライフラインの被災状況を情報収集



中村教授による基調講演



安川夫婦の美しい歌声が会場に響き渡ります

心に響く歌声で聴衆を魅了

牛窓オリーブコンサート

牛窓町公民館で7月8日、牛窓オリーブコンサートが開催されました。海外の有名オペラ公演にも主役として出演している、世界的なオペラ歌手安川佳秀（関西学院中等部教諭）・裕子夫妻が、世界の名曲など15曲を熱唱。その力強く美しい歌声が会場に響き渡り、場内約300人の皆さんはうっとりとした様子で聞き入っていました。また、市内の6コーラスグループが、その歌声を披露。日ごろの練習の成果を発表し、会場から惜しみない拍手が送られていました。

活動を通し友情深める

牛窓3小学校校海の交流学習

6月14・15日の2日間、牛窓町前島のカリヨンハウスで、牛窓東・西・北小学校の5年生54人が、海の交流学习を行いました。児童たちは、海岸で貝殻を取ったり、畑に植えられたジャガイモやタマネギを収穫したりして、前島の自然に触れ、のびのびと活動しました。また、翌日は班に分かれ、いかだ漕ぎに挑戦。班のみんなで力を合わせ、懸命にいかだを漕いでいました。「最初はいかだから落ちた、りしないか不安だったけど、みんなで声を掛け合って頑張れました」と話す白倉樹君（10歳・牛窓町鹿忍）。3校の児童は、一緒に宿泊や活動する中で、お互いに友情を深め、有意義な時間を過ごすことができました。



みんなで力を合わせていかだ漕ぎ

日本の素晴らしさを聞け

いきいきライフアップセミナー

邑久保健センターで7月7日、いきいきライフアップセミナーが開催されました。講師は、マレーシア出身のジェニー・ルー・花田さん。「日本に暮らして」と題し、日本の生活で驚いた話や民族の違いなどについて、笑いあり感動ありの楽しい講話がありました。



幼少時代や日本に来てからの話をするジェニーさん

いつまでもお元気で

柴田利男さんが満100歳に

7月5日、柴田利男さん（邑久町下山田）が100歳を迎えました。当日、下山修治備前県民局健康福祉部参与や野崎一正市保健福祉部長らがお祝いに自宅を訪問。牛窓・邑久などの公民館で表装や表具を教え、ほかに俳句や川柳を詠むなど、趣味が多い柴田さん。この日も家族に囲まれ、大変お元気な様子でした。元気で長生きする秘訣は「食事を何でも食べ、お茶をよく飲むこと」だそうです。柴田さん、これからもお元気でお過ごしください。

記憶と記録に残そう

旧邑久中学校講堂ワークショップ

老朽化で解体・撤去が決定した「旧邑久中学校講堂」を、将来を担う子どもたちの記憶に残してもらおうと、6月30日、ワークショップが行われました。地元の小学生とその家族17人が参加。岡山県建築士会の指導のもとに、建物への興味を持つてもらおうと、建物を実際に測ってみる実測調査を体験。4班に分かれ、測りたい場所をスケッチした後、子どもたちはメジャーで柱から柱の長さや厚みを図っていました。その後、写生大会も実施。子どもたちは、画用紙いっぱい建物の特徴をとらえながら、思い思いの旧邑久中学校講堂を描いていました。



ろうそくの火を吹き消す柴田さん（右）



協力しながら柱の厚みを実測